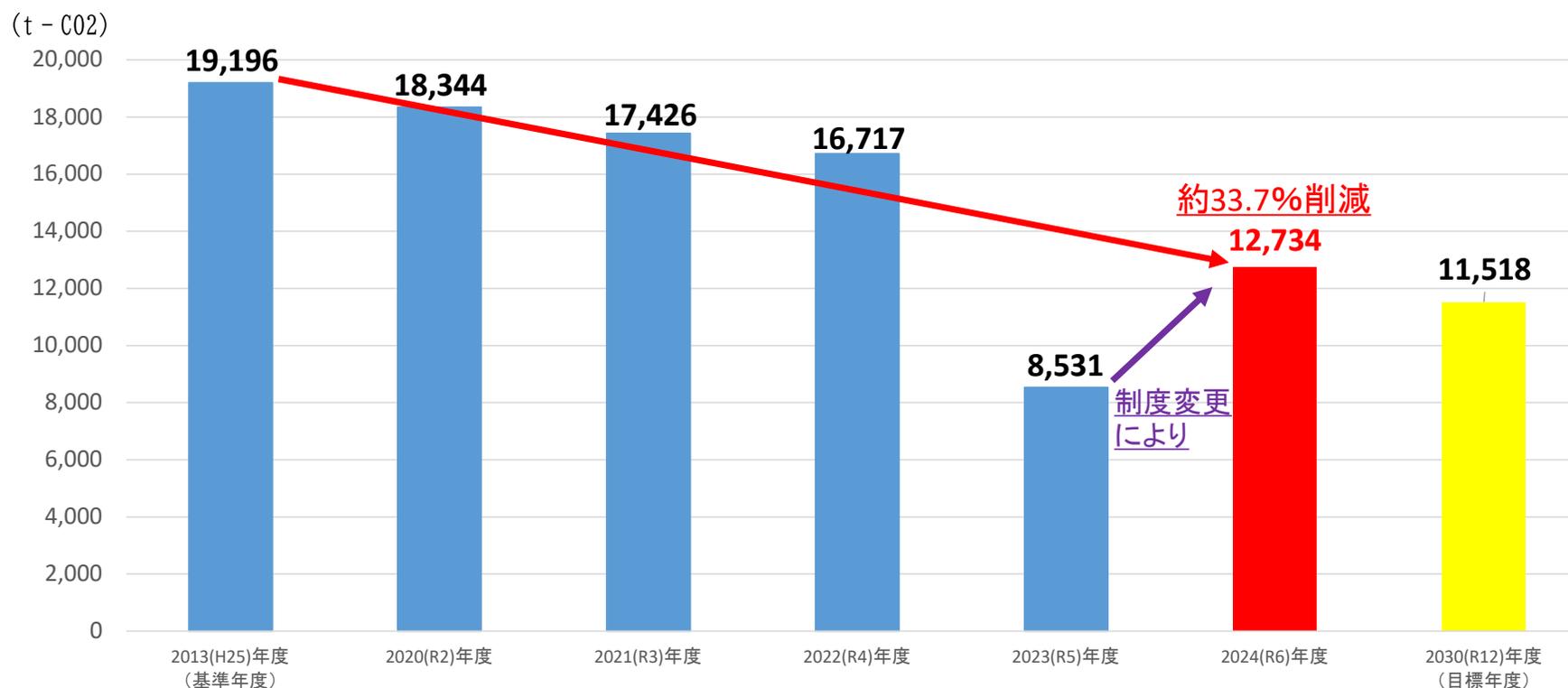


# エネルギー起源二酸化炭素排出量の進捗状況

- ・2023(R5)年度の排出量が大幅に減少したのは、2022(R4)年に鈴鹿グリーンエネルギー(株)を設立し、電気契約の切り替えを行ったことに伴うもの。
- ・2024(R6)年度が大幅に増加しているのは、温室効果ガス排出量算出に係る制度(※)が変更されたことに伴うもの。  
(※「地球温暖化対策の推進に関する法律」が改正され、算出にあたり、これまで必要のなかった排出係数を加味する必要が生じた。例 鈴鹿グリーンエネルギー排出係数 0 ⇒ 0.334 )
- ・猛暑により空調に使用する都市ガス使用量が市本庁舎で昨年度よりも約1.7倍、中学校においても平均約1.4倍となっており、排出量を押し上げる要因となっている。



(出典 2024(R6)年度温室効果ガス管理シート)